



共通テスト予想平均点 文系542.2点 理系561.7点!

1/13、1/14に行われた2024年度大学入学共通テストの結果がまとまってきました。本校生は、福島大学を会場に、202名が受験に臨みました。河合塾の集計によれば、5教科予想平均点(900点満点)は、以下のようになっています。

5教科7科目文系……542.2点(前年差: +5.3点)

5教科7科目理系……561.7点(前年差: +7.2点)

また、大学入試センターの中間集計によれば、各教科科目の平均点と前年差は下表の通りです。



2024年度大学共通テスト(本試験)平均点(中間集計)				
教科	科目	平均点	平均点对前年差	
基幹3教科平均点合計(600点) (国語+数学I A II B+英語)		352.89	13.86	
		58.8%	+2.3ポイント	
国語(200点)		115.73	9.99	
地理歴史・公民	地理歴史(100点)	世界史B	63.03	4.60
		日本史B	58.03	▲1.72
		地理B	68.38	7.92
公民(100点)	現代社会	57.44	▲2.02	
	政治・経済	46.02	▲4.94	
数学	数学①(100点)	54.35	▲1.30	
	数学②(100点)	61.03	▲0.45	
理科	理科①(50点)	物理基礎	30.91	2.72
		化学基礎	28.91	▲0.51
		生物基礎	32.71	8.05
	理科②(100点)	物理	64.38	0.99
		化学	56.86	2.85
		生物	55.72	7.26
外国語(英語)(200点)	リーディング(100点)	53.28	▲0.53	
	リスニング(100点)	68.50	6.15	

*▲は一

また、河合塾の共通テストの分析結果を抜粋します。(一部改)

① 出願傾向・形式は昨年から大きな変化なし

出題傾向をみると、昨年から大きな変化はなく、「思考力・判断力・表現力」を問うという出題方針に則った出題でした。

② 英語(リーディング)、数学でダウン、国語は約10点アップ

「英語(リスニング)」「国語」で平均点がアップした一方、「英語(リーディング)」「数学I・数学A」「数学II・数学B」ではダウンしました。「英語(リーディング)」は、長文問題の単語数が大きく増加したこともあり、得点率8割以上の高得点層が大きく減少しています。「数学II・数学B」では、計算量は減ったものの、論理的な思考力が試される設問が多く、数学が苦手な受験生にとっては解きにくかったようです。

「国語」は現代文・古文・漢文すべてで

平均点が上昇しました。現代文は素直な出題が多かったことや、古文は読みやすい文章だったことなどが要因と考えられます。

理科では、主に文系生の選択者が多い生物基礎の平均点が上昇しました。理科②では、昨年得点調整の対象となった生物が化学と並ぶ平均点まで上昇したものの、依然として物理との差は開いています。

地理歴史・公民では、理系生の選択生徒が多い地理の平均点が上昇した一方、日本史では下降しました。

③ 5教科7科目型平均点、文系・理系ともに上昇

理系の上がり幅が大きいのは、文系生と比べて数学の平均点が高かったことや、前述した地理Bの平均点上昇などが要因として考えられます。

旧課程最後の学年の入試ということで、状況としては、堅実な出願が予想されますが、自己採点時の全国の志望校分布を見ると、平均点の上昇により、強気な出願傾向も見とれます。

将来やりたいことを初志貫徹することが第一ですが、共通テストの点数を参考にし、各大学の特長を捉えながら、柔軟に考える姿勢を大切だと思います。



「国公立大入試」のしくみを知っておこう！

大学入試は、地区予選のない全国大会ですが、日程がある程度決まっており、早く準備した生徒が有利になるのは言うまでもありません。まずは、学習に力を入れるのが良いのですが、入試のしくみを知っておくことも大事なことです。1・2年生の生徒の皆さんは、3年生になる前に、『国公立大入試』のしくみを知っておいてください。

共通テストが終わり、国公立大入試は、個別学力試験（「二次試験」）へと進んでいきます。2/2(金)までに前期、中期、後期とも各大学へ出願し、2/25(日)からは「前期日程試験」が行われます。

共通テストは、2025年度（現2年生向け）より、新課程入試となり、以下の変更点があります。

- ① 新教科「情報」が加わる
- ② 「地理歴史」「公民」では出題科目が大きく再編される
- ③ 数学②では「数学Ⅱ、数学B、数学C」の1科目となるほか、試験時間が延長される
- ④ 国語では試験時間延長のほか、問題構成・配点に変更される

多くの国公立大学の場合、5教科+「情報」を必要とします。英語のリーディングとリスニングの配点比率も大学により異なります。また、二次試験は、大学が指定する教科科目が必要となり、各教科科目の配点は大学によって異なります。

本校では、国公立、私立を問わず、大学・短大の「学校推薦型選抜」を希望する生徒は、その応募条件

の1つとして、「共通テストを必ず受験すること（その大学の一般選抜で課される教科科目）」を課しています。それは、一般選抜合格生徒に負けない実力をつけてから入学して欲しいからです。

共通テストの翌日には、自己採点を行い、結果を、ベネッセ・駿台予備校や河合塾に依頼し、志望大学の可否判定を行います。その後、その判定結果とこれまでの模試の成績や各大学の二次試験の科目や配点比などを基に、個人面談を行い出願先を検討します。そして、二次試験の前期日程・後期日程・（中期日程）で受験する大学を1校ずつ決定し、全日程を同時に出願します。また、新潟県立大などの公立大学では、前・中・後期の日程に属していない独自日程を実施しており、他の日程と併願が可能です。

国公立大の可否は、一次試験である共通テストの点数と、二次試験である大学ごと個別試験の点数の合計によって、可否が判定されます。一次試験でリードして逃げ切る形が基本ですが、二次試験での逆転も可能です。しかし、そのためには、二次試験の教科科目と配点が有利である必要があります。

国公立大の個別学力試験は、記述式試験が一般的で、受験科目と配点は大学により大きく異なります。出題科目は、理系学部の場合、英語、数学、理科、文系学部の場合、英語、国語、社会が中心です。一般的に、東北大などの難関大では、受験教科科目数も多く、二次試験の配点比率も大きくなります。

また、福島大や県立医科大の看護学部のように、小論文や総合問題（現代文読解、英文読解、データ読解等を含む）を課す大学も増えています。

大学入学共通テスト 1/13・1/14

[自己採点+結果分析、三者面談]



個別別学力試験（二次試験）への出願 1/22（月）～2/2（金）



前期日程試験 2/25（日）～26（月）



前期日程合格発表 3/1（金）～10（金）

合格……手続き 不合格 ↓

中期日程試験（一部の公立大のみ） 3/8（金）～



後期日程試験 3/12（火）～



後期中期日程合格発表 3/20（水）～24（日）

合格……手続き 不合格 ↓

追加合格者発表

合格……手続き

欠員補充第2次募集出願・試験 3/28（木）

